

2010/9/9

会 報

つくば学園ロータリークラブ



TSUKUBA GAKUEN ROTARY CLUB DISTRICT 2820 R.I.

It is the 25th year since 1986

9月9日(木) 例会報告



例会開始を宣言する川崎庄一会長

例会報告

本日は、第9520地区モリアルタRCの国際奉仕委員長 恵美子・マイヤー様がお越しくださいました。モリアルタRCはオーストラリアのアデレード郊外に位置し、現在35名で活動されています。そのうち女性会員は5名で、恵美子・マイヤー様のご主人もロータリアンとして活動されていらっしゃいます。

今回つくば学園RCの例会にご参加いただいた理由は、現在つくば学園RCの国際奨学生牧田英（まきたあきら）さんと交流があるためです。牧田さんとは、クラブ

活動を通して知り合ったそうです。是非つくば学園RCを訪問してみたかったという気持ちから今回のご訪問となりました。恵美子・マイヤー様ありがとうございます。

次に、筑波大学学長の山田信博様より、招待卓話を頂戴いたしました。山田学長の大学に対する思いや今後の筑波大学の目指される方向について貴重な卓話をいただきました。

若者の知的好奇心を大いに刺激し、想像力とチャレンジ精神を喚起する目的は、当月の新世代月間に非常にマッチした卓話をいただけました。私たち会員もより教育の現状を認識し、次代の育成に尽力しなければならないという気持ちを新たにいたしました。



バナーの交換をする川崎庄一会長と恵美子・マイヤー様



幹事報告をする皆場真治幹事

幹事報告

1. 例会変更のお知らせ

- 石岡ロータリークラブ 観月会のため
- 土浦南ロータリークラブ お月見例会のため
- 霞ヶ浦ロータリークラブ 観月会のため

2. 社会福祉法人茨城いのちの電話より

- チャリティーコンサートの招待券が届きました

3. 『ロータリーの友』英語版の案内が届きました

4. 京都山城ロータリークラブ

- 先日送付した活動報告DVDのお礼が届きました

5. 浅草、百里基地の移動例会出欠の返信依頼の件

招待卓話 筑波大学学長 山田信博様



筑波大学の概要

本日は、招待卓話として筑波大学学長の山田信博様にお忙しい中お越しいただきまして「筑波大学の概要」というテーマで卓話をいただきました。

まず最初にお話しされたのが、日本の大学の現状です。2つのご質問から卓話を始められました。

1. 今年のシーリングは一律10%カットですが大学の予算も適用されるのでしょうか？
2. 日本の大学教育の予算はOECD加盟国の中で何位でしょうか？

答えは、1が大学も一律カットの対象です、2は最下位です。

これには私たち会員も驚きました。どの先進国でも予算の中に占める割合は、医療と教育は高くなります。日本では国立大学が国立大学法人になって以来、予算は毎年1%づつカットされ続けております。

そのため研究成果がすぐに収入に結び付きやすい分野の先生方が多くなり、すぐに収入に結び付きづらい基礎的分野（数学や物理）の先生や文学の先生方が少なくなる傾向にあります。これはイコール受験問題をつくる分野の先生方の減少を指し、受験シーズンにはご苦労が増え、またミスがあるとマスコミに叩かれるという精神的苦痛も伴います。

また予算カットにより、総人件費が抑制されております。教職員は減らしませんので、職員が整理される傾向にあります。これは教職員が本来教育や研究に時間を割きたいところではありますが、事務処理に時間がとられている現状を招いております。

教育と経済成長率は、ある程度相関関係にあります。教育費を削って経済成長している国はないそうです。教育に対する政策を見直す必要があることを提言されていらっしゃいました。

大学の歴史は、紀元前プラトンの周りに研究熱心な若者が集まって教えを乞うたのがその起源と言われております。その後中世のヨーロッパにおいて組織化されたのが大学の始まりです。つまり探究心の旺盛な若者たちが自主的に集まってきたのが大学の始まりなのです。日本では明治維新後ヨーロッパをまねて、国をつくるために政府が導入したのが大学です。そのため市民教育の認識が少なくなる傾向が見受けられます。

自主的に集まってきた若者は、真実の追及・探究心が旺盛です。農業の進歩や戦争などの終結によりゆとりができると専門職業人の育成が始まりました。弁護士・宣教師・医師です。少し遅れて哲学と教養一般が入りました。人類の進歩は知的好奇心によりもたらされます。想像力豊かな新しいイノベーションは科学技術を進歩させ、生産性を向上させ、より若者の教育環境が充実し、若者の知的想像力をより刺激する機会が増え、イギリスの産業革命へと結びつけます。つまり大学が人類の進歩の仲介役なのです。先ほど述べましたように、ヨーロッパは自主的に大学が成立しましたが、日本では政府が大学をつくりました。そのため市民が日本の大学を育てるんだという意識が少なく感じます。

大学の運営も、限られたインカムを最大限に活用し、よりブランド力を向上するための教育と研究の成果、つまりアウトカムを高めなければならないと考えております。そのためには、人・物・財源・時間という4つの資源（インカム）をいかに最適化して運営するかが求められております。私はここに第5の資源として志を追加し、以前の4つの資源を量から質へ転換することが今求められていると考えます。

筑波大学の特徴は、政府がつくった大学から脱却し、新しいシステムで、革新的でアメリカの大学に近い大学の運営にあります。想像力やチャレンジスピリットが旺盛な若い人たちがどんどん力を発揮できる大学を目指しております。

開かれた大学を目指し、上から目線でなく、フラットな気持ちで社会に開かれた大学を目指してまいりますので、今後もかわいがっていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。



9月9日 会場スナップ①



本日は、筑波大学学長の山田信博様とモリアルタRCの恵美子・マイヤー様にご参加いただきました。写真は2段目の左端です。お二人とも笑顔が素敵な方です。私たちもお二人に負けぬよう、明るく楽しく元気よくまいりましょう。





9月9日 会場スナップ②



今回は久しぶりに田口会員がご出席してくれました。特別におひとりでアップの写真を掲載いたしました。是非今後もご出席よろしくお願ひいたします。



9月9日 報告・依頼事項



野球同好会の出席の依頼をする下村正会員

2820地区の野球大会が9月18日（土）開催されます。

前回の練習に大里喜彦会員と塚原英夫会員が出席してくれました。

即レギュラーが確定いたしました。

これは、お二人の野球の腕前ということではなく、現在参加してくれるメンバーが少ないためです。

参加していただければレギュラーになれますので、是非ともご参加ください。

よろしくお願ひいたします。

野球同好会の勧誘をする
下村正会員



9月9日ニコニコBOX

石井健三	元会員稻葉さん卓で、お月見会に参加してきました。お元気そうで、ヨーロッパに旅行されるとお聞きしました。いつまでもお元気にお過ごし下さい。
川崎庄一	山田学長、お忙しい中、卓話をいただきまして大変ありがとうございました。これからも時々ご出席くださいますようお待ちいたしております。また、マイヤー様このたびはメークアップのご出席大変ありがとうございました。スケジュールの関係で卓話の時間がとれませんでしたが、今度お見えになる時は是非オーストラリアの情報を聞かせ下さい。ありがとうございました。
田口幸男	山田先生、本日はご苦労様です。
塙田陽威	山田学長、すばらしい卓話をありがとうございました。もっともっと筑波大のPRを宜しく！またロータリーに来てPRを！



報告

岡本副委員長

ニコニコ累計現在まで約30万円になりました。年間目標達成に向けてご協力よろしくお願いいたします。

本日の合計

¥21,000-

本年度累計

¥297,000-

出席率報告 9月9日(木) 例会

出席率72%以上 無届欠席ゼロを目指して

会員数	出席数	欠席数	内無届欠席数	出席免除	マイク・ゲスト	出席率
66名	48名	16名	4名	2名	2名	80.66%



報告

高野委員長

今回も無届欠席者が4名でてしましました。前回は0名でした。

まずは無届欠席月間累計0名に向けて頑張ります。ご協力よろしくお願ひいたします。

プログラム予告 9月 新世代月間

9月16日 職業奉仕報告
鈴木敏雄会員、上野修会員
会員誕生祝

9月30日 新入会員卓話
倉持武久会員、生井俊一会員



4つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ホームページもご覧下さい
<http://www.46gama.com/>

編集後記

(クラブ会報委員長:鯨井)

●今回は、筑波大学学長山田信博様から卓話をいただきました。日本の教育の現状、大学に対する諸外国と日本の認識の違い、筑波大学における取組など、様々な視点から日本の教育制度についてのお話をいただきました。

私自身今回初めてお聞きする内容が多くて、今までの認識不足が恥ずかしいくらいでしたが、私なりにも感じていることがございます。それは税制面から見た諸外国と日本の違いです。

例えばアメリカの場合は、基本的に寄付が非課税になりますが、日本の場合は寄付で控除が認められる団体も制限されており、寄付に対してもその一部しか非課税扱いになりません。

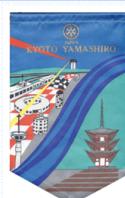
ちなみに、2000年頃のアメリカでは年間約20兆円を超える寄付が行われていたのに対し、日本では約1,000億円程度にとどまっています。もちろん宗教観、社会意識によっても違いますし、アメリカにおいては、所得格差・資産格差が日本に比べて大きく、小さな政府を志向しているため、医療保険制度の公的福祉が未整備などに表れているように、民間による所得の再配分の重要度が高いことも起因していると思われます。

何が正解かはわかりませんが、日本人の社会への参画意識を高めるためにも、租税回避につながらないためのしかるべき配慮は必要ですが、控除枠を思い切って非課税とする検討があるべきではないでしょうか?

アメリカで多く見受けられるように、大学に多額の寄付を行うと、例えば講堂や校舎などにその方の名前をつけるのも一つの方法だと思います。

国の努力と民間の努力の両方をより高めて青少年を育成しないと、将来の日本の未来は明るくならないと考えているのは私だけではないと思います。

例会日 木曜日 12:30~13:30
例会場 「オークラフロンティアホテルつくば」
つくば市吾妻1丁目1364-1



友好クラブ

京都山城ロータリークラブ
(第2650地区)



つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email:gakuenrc@46gama.com